

# みどり通信

第38号  
2024年8月1日

2024

8 Aug

令和6 葉月



青蚊帳に  
家族そろって  
夏の夜  
蛍飛び交う  
暗い闇

発行 相模原市みどり会

見開き版

## 「夏の思い出」

秋野文子

浜松大空襲の翌年  
掛川 北池の畔  
幼い私と母の写真  
カメラを覗く父  
生きている家族

北海道 焼尻  
オンコの木  
留萌から船  
複式学級  
戸締まり不要の島

ワクチン四回  
コロナ二度  
向日葵咲く時  
どんな夏  
今年の夏は  
どんな夏

長崎で軽く被爆  
施設の友 N さん  
少女の頃から  
甲状腺異常  
今も治療 続く

弁天島  
みんなで海水浴  
大きな西瓜  
海苔巻き持って  
真っ黒に日焼け

アイスクャンデー  
一本五円  
チリンチリンと鳴らし  
少しづつなめて  
麦わら帽子

夏の葉山  
ワゴンで七人  
宿泊施設に二泊  
富士山を見て  
朝の海辺

## 久々例会に参加して

コロナ以降初めて例会に参加。一人一人の感想をお聞きした中で以前より良くなられた方もいて嬉しいなと思いました。当事者と一般の方が参加し話をする会があることも知りました。また当事者が精神以外の病気になった時安心して治療できる病院があるとよいのにとの話もありました。良い報告があれば喜び困りごとがあれば寄り添える会はいいですね。これまでみどり会を支えて下さっている皆様ありがとうございます。

山田

## 「享保の改革」

秋野文子

八代将軍、徳川吉宗は米将軍と言われている。  
制度の改革も然る事ながら、薩摩芋についての功績がある。  
「薩摩芋を普及させた」ことだ。  
薩摩芋は現在、健康食品としてお八つにも食事にも使われている。  
当時は、農民の腹の足しになり幕府にとっても良いことだったらしい。  
歴史好きな家族との電話トークにも熱が入り、ぜひ話題提供したくなっ  
てしまった！



## 「B29 に追われた父」

秋野文子

2001年に永眠した父は晩年、夜、恐怖感に襲われていた。  
「和尚さんがバイクで向かって来る!」と机の下に座布団で頭を覆い隠れる。  
戦争中、父母がリヤカーを引いてよる南瓜など運んでいた。B29が低空で、やって来て旋回してらされたらしい。  
草むらに二人は身を隠したが、その屈辱と恐怖感は聞いていた。  
認知症の症状が出てきた数ヶ月の母を困らせていた。  
60年前の戦争中と晩年と二度の恐怖に襲われている。

## 「トイレット」

秋野文子

コロナ2度目の感染をした。「たかがコロナ、されどコロナ」で病状以上に隔離生活が大変だった。トイレ問題。  
日本語だと、厠、便所、手洗い、ご不浄。英語だとトイレット(化粧室)、お風呂と一体になっている場合もある。  
トイレ問題は、水洗トイレが使えないからと言って、携帯トイレ、おむつと簡単にしないでほしい。  
日常的に身体障害のある者の排泄について、考え話し合ってもらいたい。  
ハードの面、当然、費用が必要になるが。



水引草

## 「相模原おすすめスポット」

<橋本七夕  祭り>


8月2日(金)~4日(日)

## &lt;博物館&gt;

プラネタリウム

## &lt;相模湖湖上花火大会&gt;

8月1日 18時45分から

<相模原の葡萄  >

中里ぶどう園

今井園

みさわ園

## &lt;ユニコムプラザ&gt;

相模原市の南の玄関口、相模大野、ユニコムは私も利用していた。

外出禁止でなければ、毎月でも行きたい。

必ずしも相談の予約が出来なくても、仲間たちと話し合えるなんて羨ましい限りです。

## 「心理指導」

ふぁ爺

叱咤激励が子どもを壊してきたということの反省から、最近の心理指導は、褒めろ、とか、否定するな、などという口当たりというか耳当たりの良いものを勧めるのが大勢だ。その極は、腫れ物に触るように子どもに接しなさい、というものだ。

叱咤激励から腫れ物扱いへは180度の転換だ。だがそれが上っ面の変化に過ぎなければ子どもはそれを見破る。

叱咤激励も、腫れ物扱いも、どちらも子どもの心を見無視している。180度の転換も表面の変化に過ぎない。そんな変更では、子どもの心には一歩も近づけない。

上述のような心理指導は、失敗した親たちは畢竟根本的なことは理解できないだろう、という専門家の諦めに基づいているのだろうか。

そのような親指導の現場に居るとき、ふと、専門家の説明に頷く親の心底に納得のゆかなさがあるように感じることもある。だが、親はすっかり自信を失くしている最中だから、にこやかに助言を受け入れる。

それでいいのか悪いのか、それは家に戻って、子どもに接して、実際にどうなるのか、が教えてくれることだろう。

親の専門家に対する報告は、おおむね肯定的なもので、だめでした、などという発言は聞いたことがない。

本当に改善されたのなら、是非当事者を連れてきてもらいたいものだ。しかし今までにそのような場に居合わせたことは残念ながら一度もない。

# ら く が き 板

夏祭り、コロナ、手足口病いろいろと。自己責任で医療費有料。

コロナ困ったものです。私どもの仲間でも数人感染しています。  
出来る限り、マスクをするようにしています。 M.N.

オープンダイアログ  
というサービスが  
いつか始まって、  
家族を治してくれる。

などということは、無い！

技法を追っていると  
ところを置き去りに  
してしまう。



絵手紙

緑区、橋本

七夕祭り 8月に。相模線は橋本～茅ヶ崎、海へ行きやすい。

短歌の俵万智も県立相模原高校の先生だった。サラダ記念日。

高校野球①

神奈川県大会はオダサガ(小田相模)小田  
急相模原の東海大相模が辛勝しました。

甲子園大会が楽しみになりました！

7月号を、じんかれん のホームページで見  
た他の家族会の人からメールを、もらった。家  
族の退院について、工夫したり考えたりしてい  
るようだ。

どうして親と子が  
一緒に集まって話す場がないんだろう？

何百年もかけて培った技を現代の技術は簡  
単に置き換えてしまう。

何万年もかけて進化した生体の機能を現代  
の医療は無視していないか？

相模原市は「さがみの国」  
北条早雲



### 編集後記

梅雨明けと同時に猛暑、コロナや手足口病なども流行っている。  
自己管理するしかない。

何とか8月を乗り切り、残暑は厳しいだろうが秋に向かう9月を  
迎えたい。

秋野

印刷用みどり通信を用意しています。お申し込みは下記へ

[midori2shin@gmail.com](mailto:midori2shin@gmail.com)

